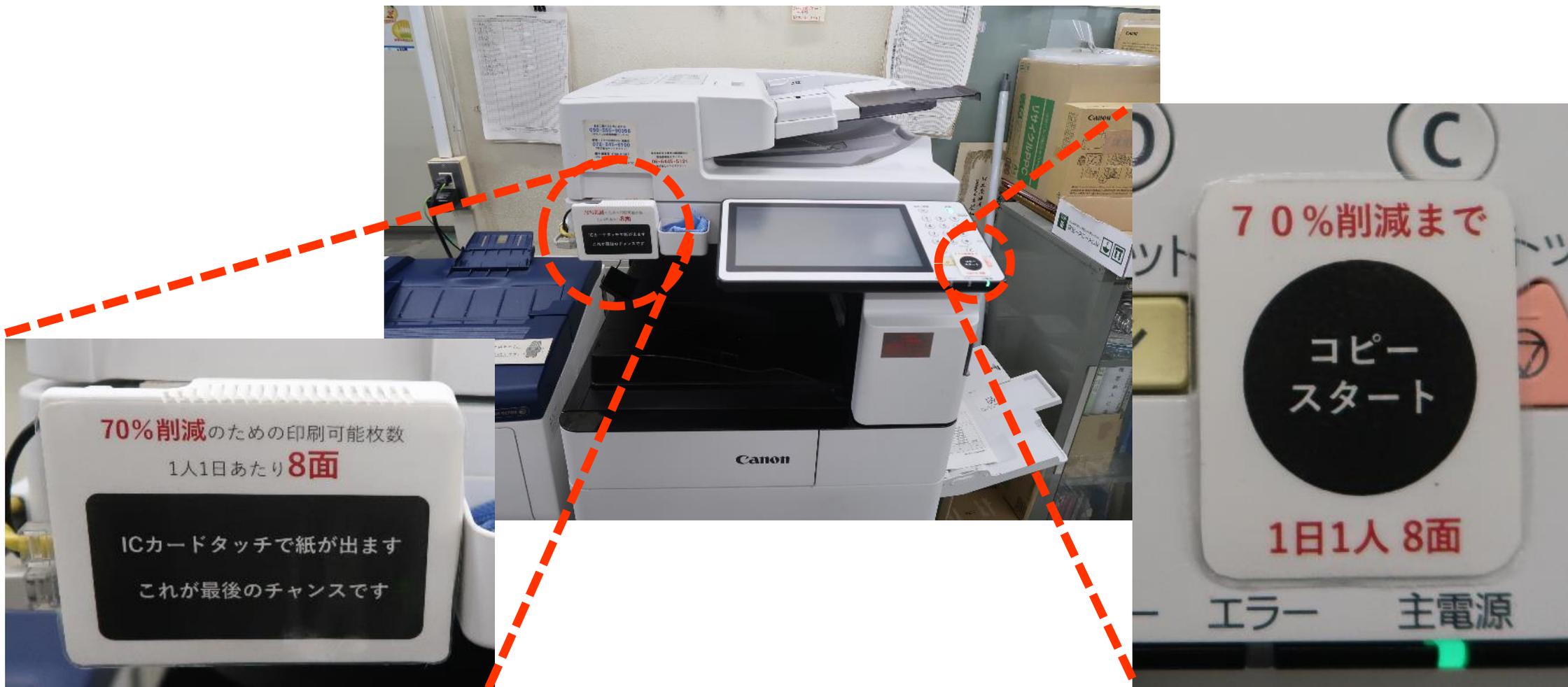


SEEDs取組の第1弾として、「複合機からの印刷枚数の削減」をテーマに、堺市環境局内の本庁課でナッジ介入を実施しました。

- 【対象】** 環境局内の本庁課（8課）
- 【期間】** 令和3年10月1日～11月30日
- 【介入内容】** 【介入①】複合機ICカードタッチ部・コピースタートボタン部へのメッセージ表示
【介入②】リサイクルボックスのダウンサイジング
- 【実験手法】** 環境局本庁内8課を4群（介入3群＋比較対象群）に分けて、それぞれ異なるナッジ介入を実施
（介入群A：介入①＋② 介入群B：介入①のみ 介入群C：介入②のみ）
- 【評価手法】** 介入前後の「印刷枚数削減率（前年度比）」を比較

介入①：メッセージの表示

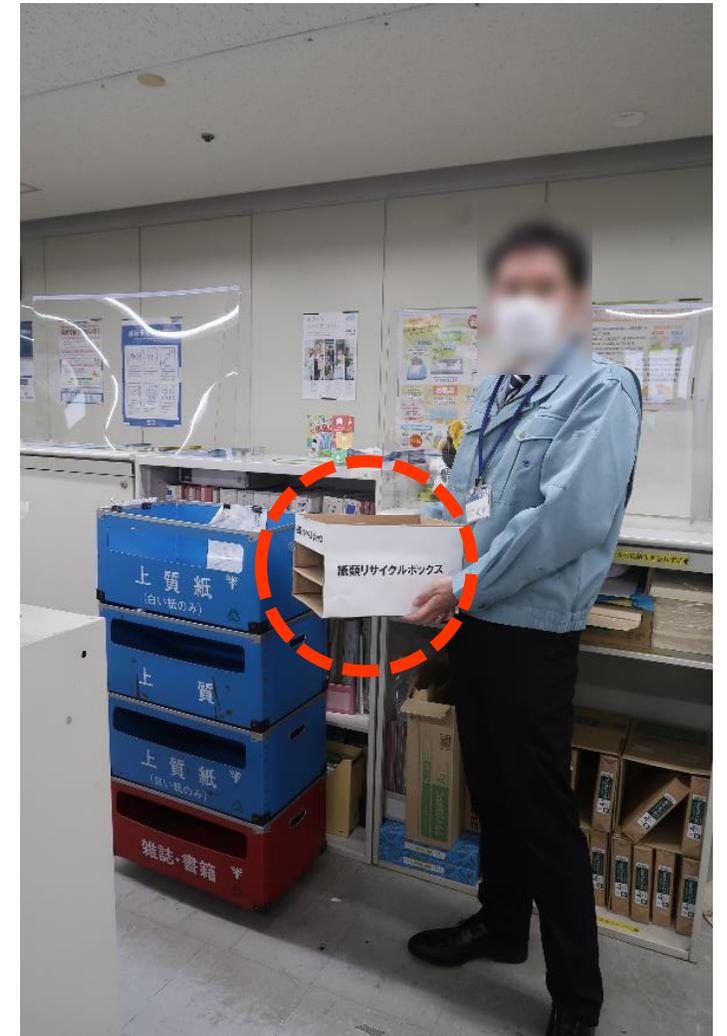


Timely（出力直前での働きかけ）、Social（組織目標の提示）、Attractive（パーソナライズ化）

介入②：ダウンサイジング

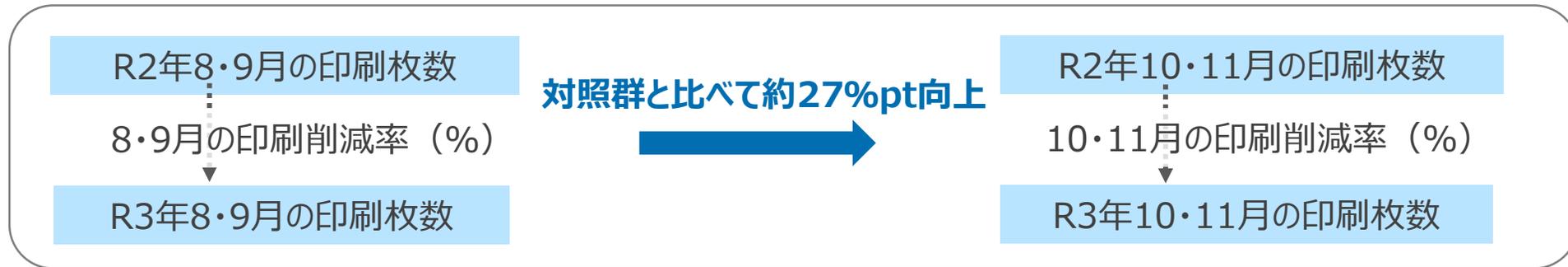


大型ボックスを撤去し、小型のものを設置



Easy (出力した紙を処分しにくいという“摩擦”の負荷)

- ・回帰分析の結果、**介入②：リサイクルボックスのダウンサイジング**には、**印刷枚数削減率（前年同月比）を約27%pt向上**させる効果があると推定されました。
- ・介入①：**メッセージの表示**では、印刷枚数削減率に対する**有意な効果を確認できませんでした**。

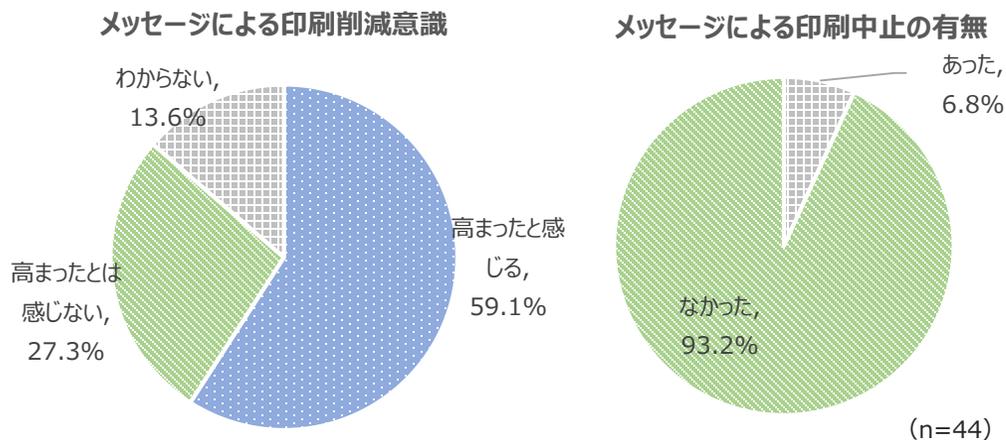


群	印刷枚数削減率への推定効果 (%pt) (比較対象群との差)	標準誤差	t値	信頼区間
介入群A	-25.5035 [†]	13.7441	-1.856	-52.441936 ~ 1.434936
介入群B	17.8907	27.0814	0.6606	-35.188844 ~ 70.970244
介入群C	-26.8402*	12.8433	-2.09	-52.013068 ~ -1.667332

アンケートによる補足分析

- ・介入①：メッセージ表示に関して、印刷削減意識が「高まったと感じる」が最も多い回答で59.1%あった一方、メッセージによる印刷中止の有無について9割以上が「なかった」との回答でした。
- ・介入②：ダウンサイジングに関して、43.3%が「紙が捨てにくく不便」と回答した一方、具体的な支障について90.0%が「なかった」と回答しました。

【介入①：メッセージ表示】



【介入②：ダウンサイジング】

